



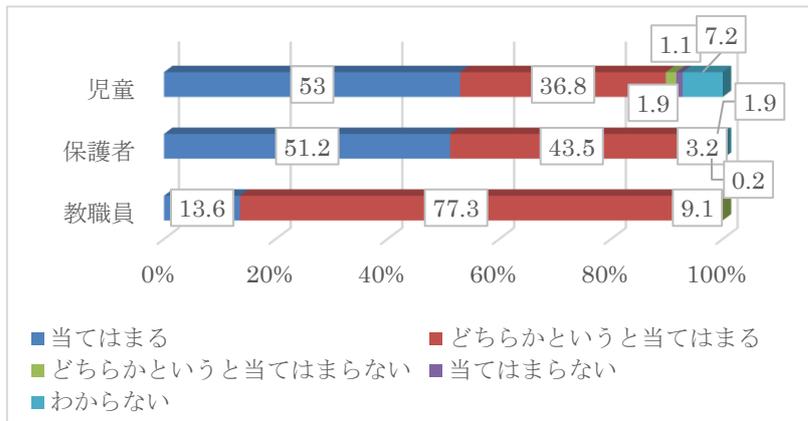
特集号

「第三小学校の教育についてのアンケート」のまとめ

保護者の皆様へのアンケート（令和5年12月実施）につきまして、回答率65%という多くの回答をいただき、ありがとうございました。結果を以下のようにまとめましたので、お知らせいたします。次年度の教育活動に役立てていきたいと思っております。今後とも本校の教育活動にご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

1 豊かな心の育成

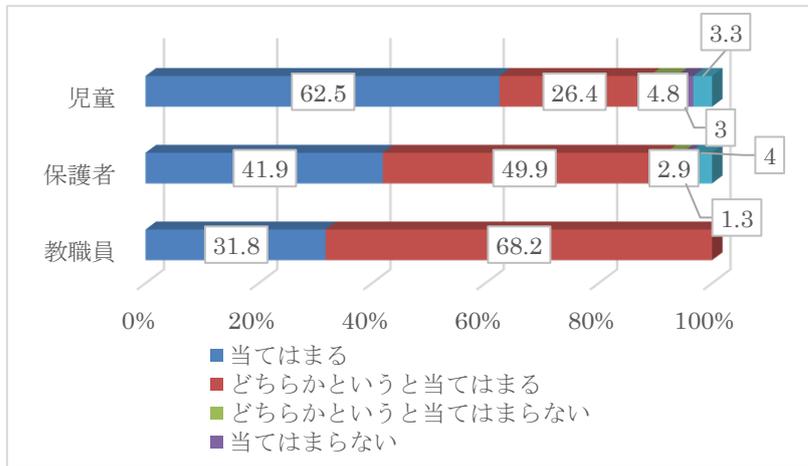
お子さんは、豊かな心が育ってきており、自分を大切にするとともに、他者に対して思いやりの気持ちをもって接しようとしている。



運動会や学習発表会などの学校行事を通して、人とのかかわりや活動の達成感を味わうことができた。また、なかよしタイム等の縦割り班活動の異学年交流の中で、それぞれの役割を果たす経験もすることができた。道徳の時間では、考え議論する活動の充実を図り、個々の道徳性の醸成に努めた。今後も、豊かな体験活動を充実させていく。

2 友達関係やいじめ対策

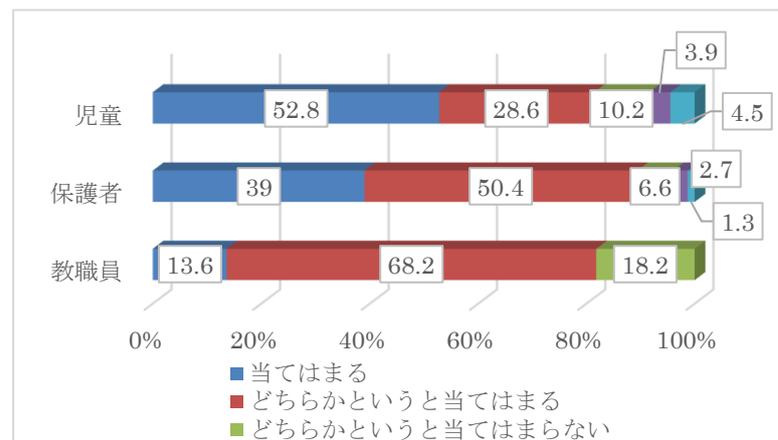
お子さんは、友達と仲良く遊んだり学習に取り組んだりしている。いじめ撲滅の取組を児童と教職員が一緒になり取り組んでいる。



各学年には、専科教員が副担任として配置されている。学年教科担任制により、複数の教員が児童の育成にあたった。その体制によって、児童が担任以外の教員にも相談するとともに、教員同士が児童について頻りに情報交換を行い個々の児童に丁寧な対応をしてきた。「子ども第一主義」の学校経営方針の下、児童一人一人に向き合っていく姿勢をこれからも大切にしていける。

3 確かな学力の育成

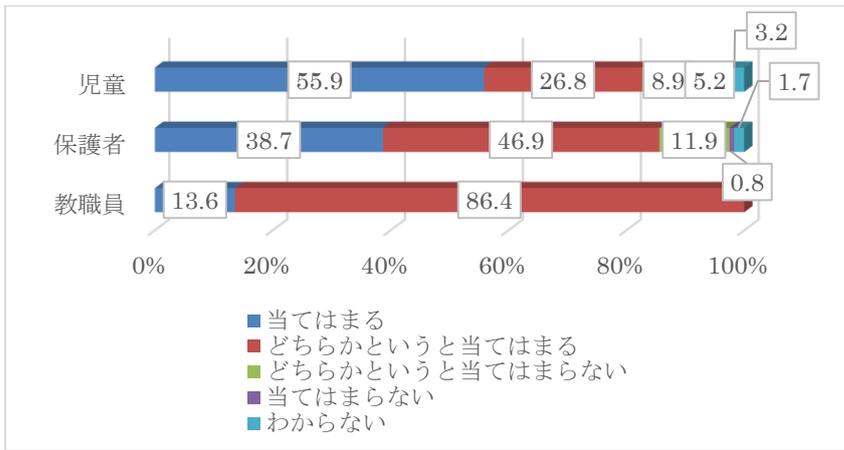
学年・教科担任制を通して、お子さんは、学年相応の基礎・基本の学力を概ね身に付けている。



学年・教科担任制を通して、授業改善に取り組むことで、児童は学年相応の基礎・基本の学力を身に付けられるようになったと捉えている。また、教科によって学び方に違いがあることも理解しつつある。主体的に課題に取り組む児童も増えてきている。これからも、教員の学習指導における専門性を高め児童の学力向上に努めていく。

4 学習意欲の向上

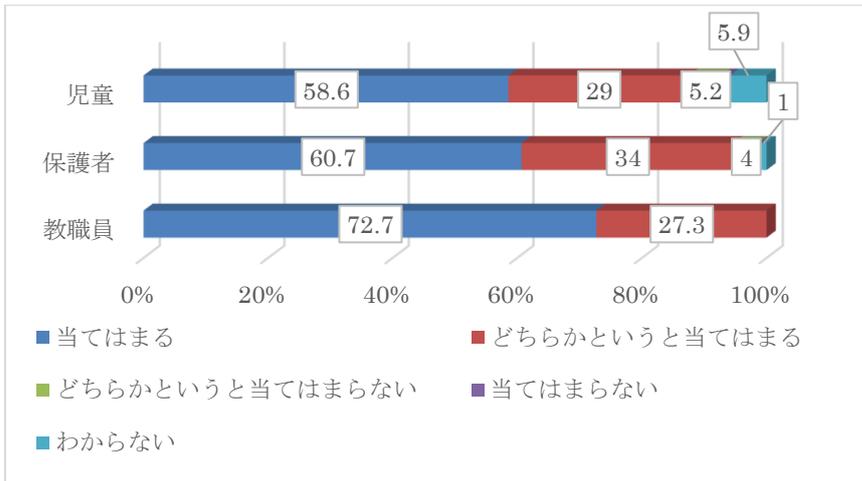
学年・教科担任制を通して、お子さんは、学習に対して意欲的に取り組んでいる。



学年・教科担任制を通して、教員の教科等の専門性を高めることに努めた。また、「授業が楽しい」「授業がよく分かる」といった肯定的な回答は、上昇傾向にある。低・中学年の児童の方がこの制度に対して抵抗感が低く、様々な教員からの指導を受けることに肯定的に評価していた。保護者の数値が昨年度より1ポイント上回っていることから教科担任制への期待感が感じられる。

5 ICT を活用した教育活動

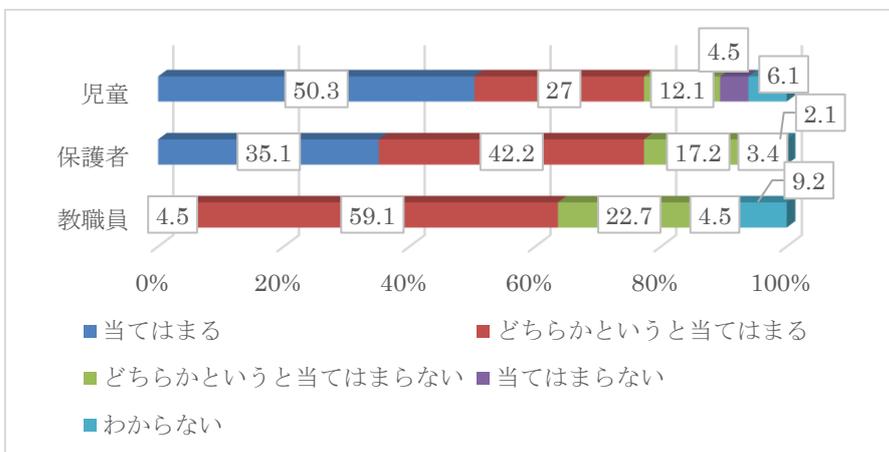
お子さんは、楽しくタブレット端末等を活用した学習に取り組んでいる。



令和4年度までの研究推進校としての取組が定着してきており、児童にとって学習時に学習者用端末を活用するのは、当然のことのようにになっている。また、教員の指示がなくても児童個々の判断で必要に応じて活用できている。一方、家庭における使い方では、困惑している保護者の方もいることから「ファミリーeルール」の全学年実施を継続しながら、情報モラルを育成していく。

6 体力向上

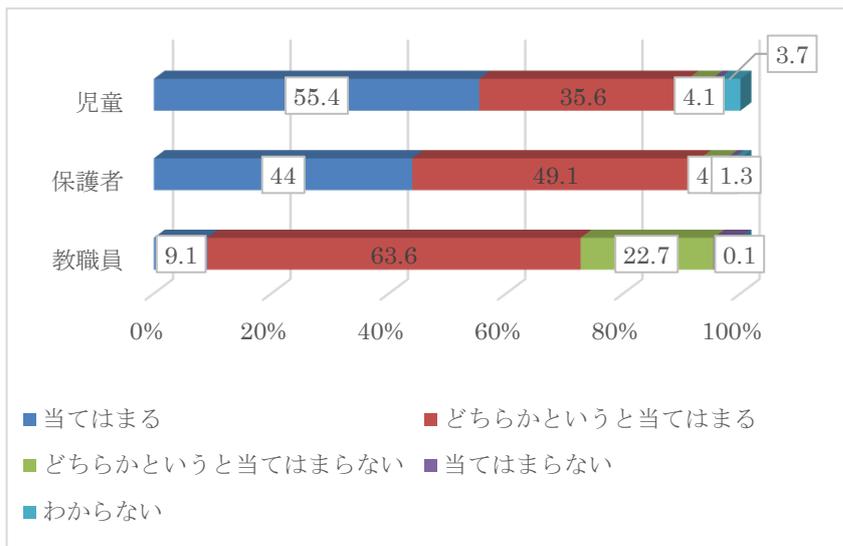
お子さんは、学校の取組の中で、学年相応の体力を身に付けられてきている。



コロナ禍における体力低下と機能低下の実態は否めなく、児童の持久力不足や怪我が多く見られた。その状況の改善策として、わくわくタイム(業間体育)、ロング昼休み、10月の体力向上月間における1クラス一実践の取組、マラソン・なわとび旬間等の実施を行い、児童の体力向上を目指してきた。今後はこれらの取組の継続や見直しを図ると共に、生涯スポーツにつなげていけるよう、体を動かすことが楽しいと思えるような働きかけを行い、心身の調和のとれた児童の育成を目指していく。

7 生活指導の充実

お子さんは、「おはよう、ありがとう、ごめんなさい、さようなら」等のあいさつやルールを守り、楽しく学校生活を過ごしている。

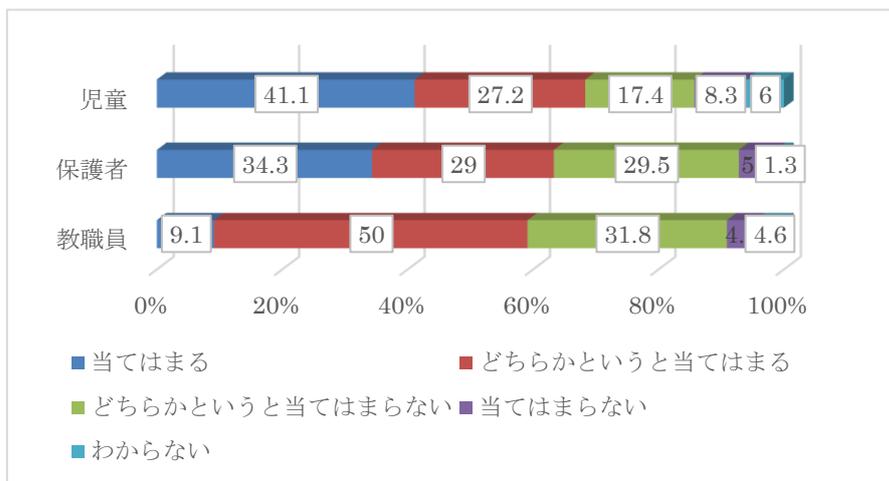


登校時、正門や昇降口で校長を始め様々な教職員が児童を出迎え、挨拶を呼びかけている。児童は、声をかけてもらえることで、安心して朝のスタートができていくように捉える。

地域の方々も交通安全週間等で登校中の児童にあいさつを働きかけてくれている。職員室に入るときに「挨拶チャレンジ」の表を掲示し、それを例に、児童は挨拶をして職員室に入る場面が増えた。これからも、大人が模範を示す意味で、挨拶を推進していきたい。

8-① 読書活動の推移

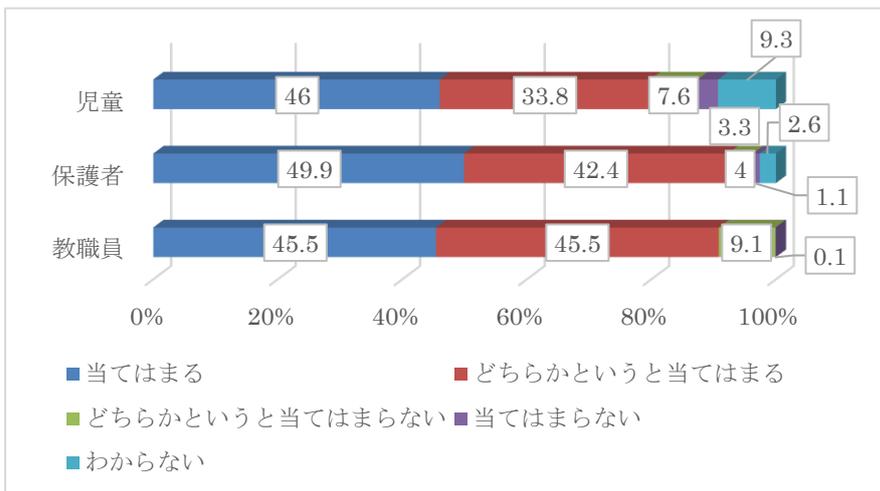
お子さんは、読書に親しんでいる。



6・10月には、毎年読書旬間を行っている。遠足で関わった異学年の友達に読書郵便を出したり「この本おもしろいよ」カードを作成したりしながら、本に親しむ活動を行っている。教職員全員による「おすすめの本」の紹介や読み聞かせの実践は、児童がとても楽しみにしている活動である。大人が本に親しむ姿勢を児童に示しながら、今後も読書の素晴らしさを伝えていきたいと考えている。

8-② 読書活動の推移

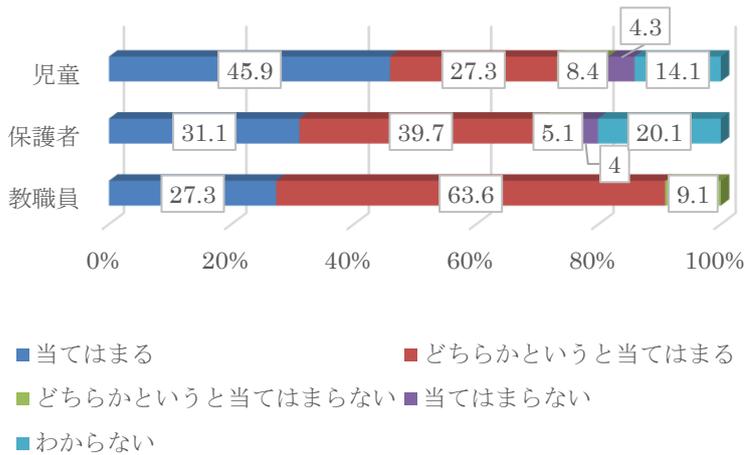
学校は、読書に関する取組の推進を図っている。



家庭での読書に親しむ時間を増やすために「家読カード」を継続して行っている。また、学年毎に目標を定め、読書率を高める工夫をしている。目標が達成できたら、図書委員会作成のしおりがもらえるという特典も、読む意欲につながる取組となっている。これからも日常での読書習慣の働きかけを行っていく。

9 特別支援教育の充実

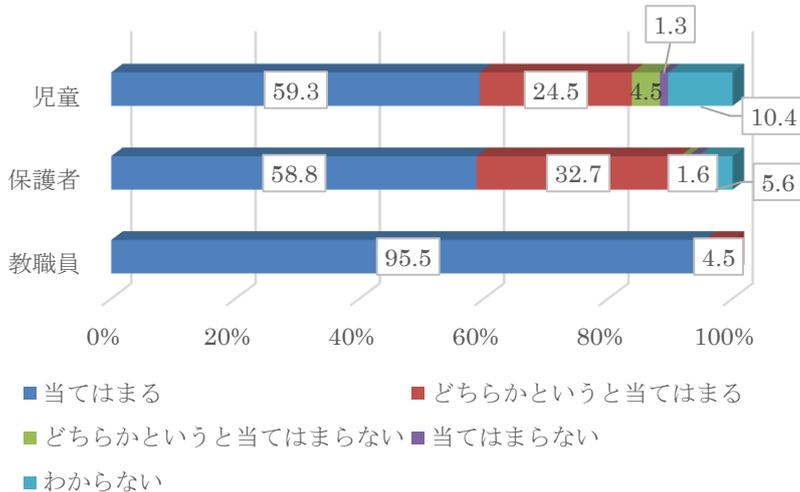
学校は、特別な支援を必要とする児童に対して、丁寧な対応に努めようとしている。



学年・教科担任制を通して、学年教職員で児童を見守り対応することができるようになってきている。その効果により明確な理由なく調子が悪いと訴えて保健室を訪れる児童が減少した。「誰かが自分を見ていてくれる」という安心感が得られていると思われる。また、複数の目で見ることにより、児童の不安や困り事に早めに気づき対応できる体制も整ってきている。この取組を今後も継続できるようにしていく。

10 環境整備の取組

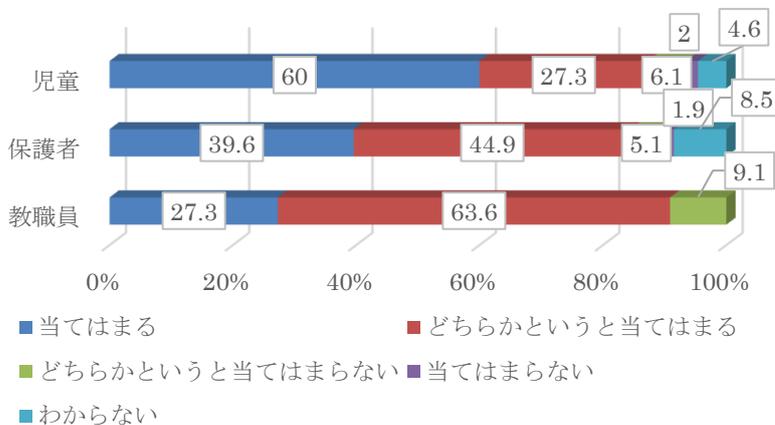
学校は、教室環境等の整備に努め、児童が安全に学びやすくなるように取り組んでいる。



毎月の安全点検や経営支援部(管理職・教員・事務職員・技能主事等)による定期的な話し合いにより、児童・教職員が快適な学校生活を送れるようになってきた。今ある資源を大切にしながら、より快適な学校生活を送れるよう、整理・整頓を心掛けるとともに、安全で安心な学校環境を整えていく。

11 食育の推進

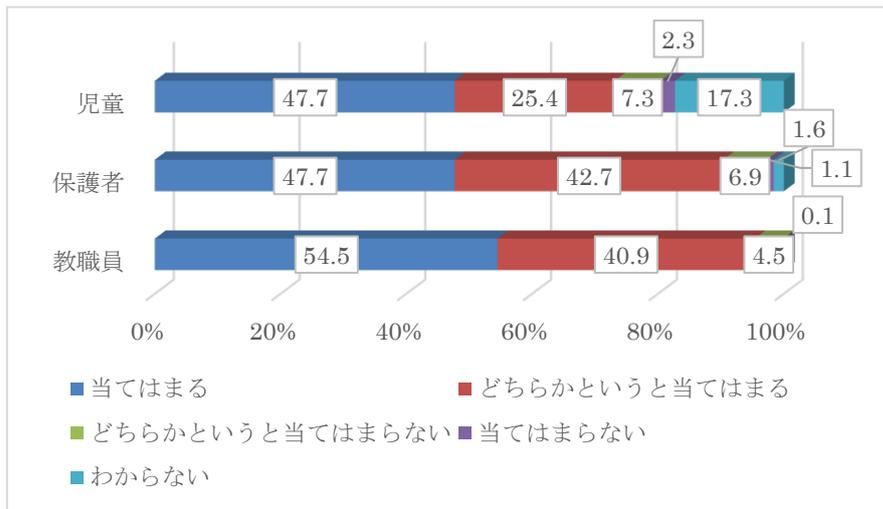
学校は、食育の指導や食物アレルギー事故防止に対する取組を行っている。



食物アレルギー事故防止については、年3回の教職員による研修を始め、管理職・栄養士・給食調理員・担任と連携確認しながら、毎日、安全に給食を提供している。食育活動では、栄養士が食に関する授業を行いながら、児童の意識を高めている。給食時間に行っている放送による食事のマナーや食材についての豆知識は、児童がよく集中して聞いている。

1.2 家庭・地域との連携と情報発信

学校は、家庭や地域と連携するために、適切に情報発信を行っている。



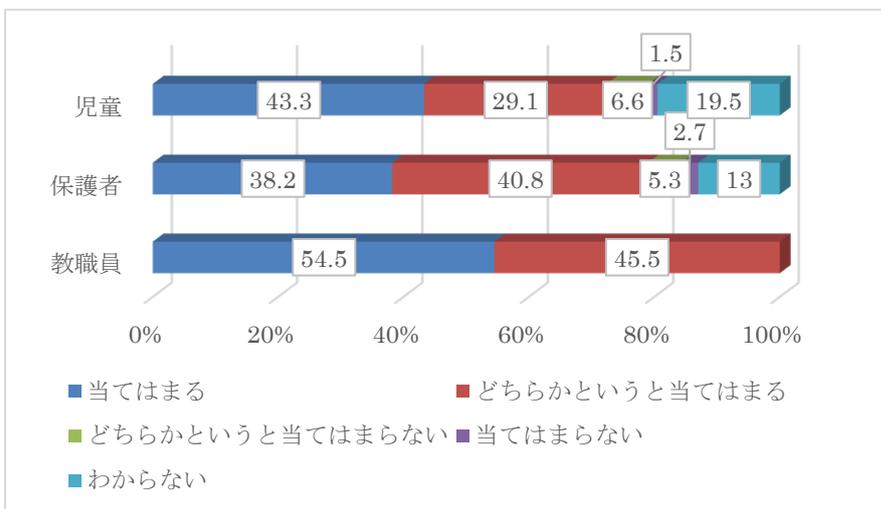
『学校だよりを以前のように紙で印刷してほしい』『学校生活の様子等のホームページ発信が昨年度よりも減ってしまい残念だ』というお声をいただいた。

学校だよりは印刷したものを家庭に掲示し活用いただいている状況を伺った。オンライン上では、すぐ見られる利点はあるが掲示等での活用には不向きである。

次年度からの学校だよりは、メール配信と印刷配布の両方で周知する。ホームページの更新は掲載する記事の年間計画を作成し、定期的に発信できるようにする。

1.3 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の推進

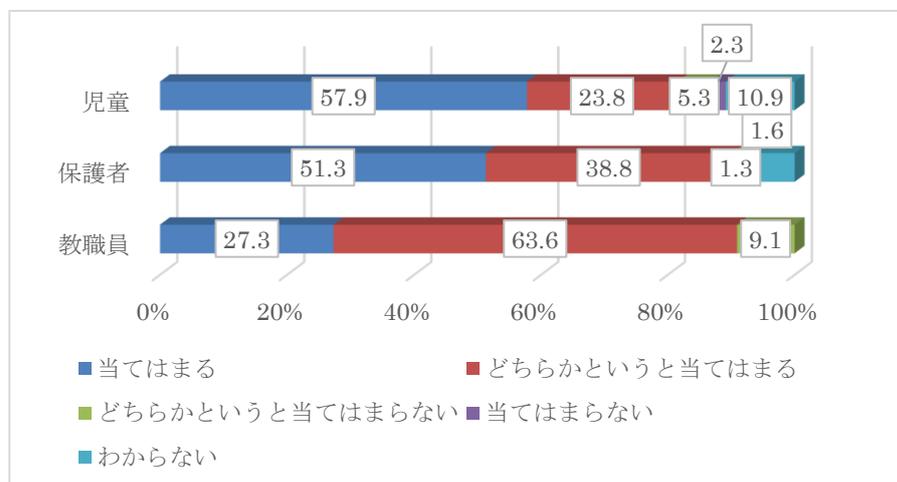
学校運営協議会は、校長の「子ども第一主義」という学校経営方針を受け、子どもたちのために教育活動に参画している。



今年度より「学校運営協議会」が発足され、校長の学校経営方針の下「子ども第一主義」で様々な活動に取り組んできた。特に「ワイワイ水遊び」では、多くの児童や保護者の方が参加してくださった。「ケヤッキーとのだんらん」では、学校運営協議会委員や保護者、教員とが親密になる機会をつくることのできた。地域と共にある学校として更に連携を深めながら、児童や保護者の方に広報活動を通して活動を周知していきたい。

1.4 働き方改革の推進

学校は、学年・教科担任制を導入することで、教員の働き方改革をすすめようとしている。



職員会議等の精選により教材研究等の時間の捻出を図った。また、地域学校協働本部のコーディネーターとの連携によって学習支援員の配置をすすめ、児童の個別支援の充実を図った。学年・教科担任制の導入により、学年業務や教材研究の効率化が図られ、在校時間の短縮に結びつけられた。

私たち教員が時間と心に余裕をもって、目の前の児童と更に向き合っていく時間を捻出していきたいと考えている。

※自由記述欄にも、様々なご意見・ご感想をいただきました。個別に回答や対応が必要な方には連絡を取らせていただきました。ご多用の中、ご協力いただき誠にありがとうございました。